



平成25年9月11日

各 位

会 社 名 O a k キャピタル株式会社

代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)

問合せ先 広報・IR 室長 桐村 康司
(TEL. 03-5412-7700)

当社の投資先である株式会社ナノ・メディアの株式譲渡に関するお知らせ

当社はこのたび、投資先である完全子会社の株式会社ナノ・メディア（以下「ナノ・メディア社」という。）の株式のうち、ナノ・メディア社の役職員へ 44,751 株（保有比率 75%）を譲渡することを決定いたしましたので、その概要に関し下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式譲渡の目的

当社の投資先であるナノ・メディア社においては、再生に向けた一定のリストラクチャリングが終了し、今後、事業の成長戦略を進めるにあたり、同社の役職員から株式譲受（MBO）の申し出がありました。当社は、この申し出を検討した結果、今後の同社の再生ならびに成長戦略を推進するに当たり、同社の役職員が株式を取得し経営に参画することで、事業再生の実現性が更に高まると判断するとともに、申し出の意向を尊重し、当該株式譲渡は妥当であると判断いたしました。

当社によるナノ・メディア社への投資の経過

- ・平成25年2月8日 当社とナノ・メディア社間で株式交換契約を締結
- ・平成25年4月8日 当社及びナノ・メディア社の株主総会において株式交換契約を承認
- ・平成25年5月8日 ナノ・メディア社株式の上場廃止、経営再生に着手

2. 当社におけるナノ・メディア社に対する投資の回収に関して

当社は、完全子会社となったナノ・メディア社より、配当金として21億70百万円を受領しました。これにより、同社に係る投資資金の回収はすべて完了しており、この投資収益は当期に計上されます。なお、当社は引き続き同社株式の25%を保有しております。

3. 当社の投資方針と実績

当社は、国内外の企業向けに資金調達及び事業の成長支援を実施しております。投資セクターは企業向け支援投資、事業プロジェクト投資、ブランド投資、IPO投資で構成されております。本年度は活発な株式市場の動きを捉え、成長支援投資（エクイティファイナンスの引受け）を拡大する方針で取り組んでおります。

➤ O a k キャピタルグロースファンド150億円の運用開始

当社は英国の投資会社と共同で、総額150億円のグロース投資ファンド（Growth investment fund）の運用を開始いたしました。このファンドは、国内に上場する企業を対象とする成長株投資を目的とするものです。将来に向けての企業の成長性や収益性に主眼を置き、企業の資金調達を支援します。

➤ 当社の主な投資実績

・上場株投資：

セーラー万年筆（東証二部 7992）、
 フライトシステムコンサルティング（東証マザーズ 3753）
 ソフトフロント（J2321）、KL a b（東証1部 3656）

・事業プロジェクト投資： デジタルポスト

次世代の郵便事業としてスマホや PC から郵便が發送できるハイブリット郵便事業への投資

軽井沢エフエム放送

情報産業事業としてコミュニティ FM 放送及びインターネット放送を展開する避暑地「軽井沢」の FM 放送会社へ投資

・ブランド企業投資：

クリストフルジャパン（フランス製銀食器の世界的ブランド）
 山田平安堂（宮内庁御用達の漆器の名門）

- 2013 年度の投資対象分野： モバイルコンテンツ、インターネット関連、情報通信、メディカル、不動産、ロボット、ライフケア

4. 当社の業績

【平成 26 年 3 月期第 1 四半期連結業績（平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 6 月 30 日）】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
平成26年 3 月期第 1 四半期 (実績値) (A)	百万円 1,031	百万円 339	百万円 333	百万円 313	円 銭 9.39
平成25年 3 月期第 1 四半期 (実績値) (B)	695	34	31	27	1.24
増減額 (A－B)	335	304	301	285	—
増減率 (%)	48.3	884.3	948.2	—	—

5. 業績に与える影響

本件株式譲渡による業績への影響は軽微であります。

以 上